

小島加奈子 絵画展 とーぼくばあさん

—しこつ湖の森の絵物語—

千歳川の源流にあるひょうたんの形をした湖の支笏湖。その森に棲む大きな倒木を主人公にした物語「とーぼくばあさん」の原画19点を展示します。



絵物語「とーぼくばあさん」
森のとーぼくばあさんは、ある朝、一匹の子リスに自分が倒木になるまでの昔話を語ります。一本の大きな木の悠久の時の中での営みから、見る人それぞれの心の奥の方にある、なつかしい森の記憶を自由に感じていただければ幸いです。

2022.7/6(水)～31(日)

会場 657美術館 ～657cmのちいさなちいさな美術館

入場時間 9:00～17:00 ※7月18日(月)休館

作者プロフィール 小島加奈子

画家 1969年愛知県生まれ。自然の中にある命の物語を絵で描き続ける。1993年愛知県立芸術大学美術学部デザイン科卒業、1995年同大学院修士課程修了(修了制作作品賞上賞)、南西諸島やアジア、ヨーロッパなど旅を重ね制作を続ける。1997年、ニッサン童話と絵本グランプリ優秀賞。名古屋を中心に、ギャラリーや各地のデパート、海外のアートフェアなどで作品を発表。1999年より北海道の支笏湖の森に滞在し「根っ株」をテーマに制作を始める。2004年より北海道へ移住し本格的な制作の拠点とする。由仁町在住。著書 絵本「キュンすけのおくりもの」(三恵社/文・小原麻由美/絵・小島加奈子) ホームページ <http://neckaboo.jimdo.com>



関連イベント

7/17(日) 小島加奈子さん来館

子ども向け

お話をつくろう

加奈子さんの絵におはなしをつけて絵本にします!

7/17(日)10:30～11:30

定員:小学生20名程度

料金:300円

場所:中島児童会館体育室

親子向け

お話会

朗読:小島加奈子/音楽:夢和
スライド映像による「とーぼくばあさん」の朗読とギター演奏、お話。

7/17(日)13:30～15:00

定員:45名

料金:小学中学年以上500円

場所:こぐま座

イベント参加は予約制です お申し込みはこぐま座まで

【お話会音楽伴奏】夢和(ゆめかず) 1993年、元ふきのとう山木康世氏プロデュースによる「夜の森」でデビュー。その後blankを経て、2nd、3rdCDをリリース。「言葉のない物語を紡ぐギタリスト」と呼ぶに相応しく、アコースティック・ギター1本で表現される抒情的な世界は「優しく、少し切なくて、どこか懐かしい」。札幌在住。市内近郊でライブを中心に活動中。

657美術館

札幌市中島児童会館・こども人形劇場こぐま座
資料室MA・SO・BO～657美術館
657cmのちいさなちいさな美術館

札幌市中央区中島公園1-1(地下鉄南北線・中島公園駅3番出口から徒歩1分/無)

札幌市中島児童会館・札幌市こども人形劇場こぐま座指定管理者/公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

お問合せ・お申し込み

札幌市こども人形劇場こぐま座

011-512-6886

関連イベントのお申し込みは、
定員になり次第受付終了します

